

市民参加に係る新しい事業や取組
(令和2年2月1日から令和2年3月19日までに広報発表されたもの)

広報発表日	概 要	所属
2月4日	<p>鎮守池（大岩街道周辺地域）の活用に係る京都工学院高校生からの御提案について</p> <p>京都工学院高校フロンティア理数科及びプロジェクト工学科の1年生により、「公共」をテーマとした授業で、大岩街道周辺地域のシンボリック資源である「鎮守池」の活用案が検討されました。</p> <p>また、令和元年11月30日には、「大岩クリーンアップ大作戦！！2019」において、同校の1年生から地域の方などの参加者に向けて、鎮守池の活用案について発表が行われました。</p> <p>この度、深草支所では、発表いただいた2案を含めた計14案を掲示しますので、お知らせします。</p> <p>1 掲示期間 令和2年2月7日（金曜日）～2月21日（金曜日）</p> <p>2 掲示場所 伏見区役所深草支所コミュニティホール（支所1階 玄関横）</p> <p>3 掲示内容 令和元年6月から9月にかけて、京都工学院高校フロンティア理数科及びプロジェクト工学科の1年生が検討した「鎮守池（約8,300㎡）」の整備イメージ（活用案）の中の14案</p>	伏見区役所深草支所
2月12日	<p>目指せ1000冊！京都マラソン古本チャレンジ（#古本チャレンジ）について</p> <p>京都マラソン実行委員会及び京都産業大学は、若者に京都マラソンの魅力を感じてもらうため、京都産業大学の学生らが企画・運営するボランティアイベントを以下のとおり実施します。</p> <p>本事業は、古本を回収・換金し、得られた収益を「東日本大震災復興支援」の義援金として寄付するものです。</p> <p>1 日時：令和2年2月16日 日曜日 午前10時30分～午後4時</p> <p>2 場所：(1)京都三条会商店街振興組合事務局前（京都市中京区今新在家西町1-1） (2)紫明商店街振興組合 みなとや食堂前（京都府京都市北区小山東大野町81）</p> <p>3 目的：(1)ランナーだけでなく、京都マラソンに関心のなかった方やあまり関わりがなかった方にも京都マラソンに興味を持ってもらうこと。 (2)京都マラソンのメインコンセプトである「東日本大震災復興支援」の取組の1つとして、マラソンに関わる人々が一丸となって復興支援を行うこと。</p> <p>4 内容：(1)京都マラソン大会当日に両会場にて、不要になった書籍や参考書等を回収する。</p>	京都マラソン実行委員会事務局 京都市文化市民局市民スポーツ振興室

	<p>(2)回収した古本を換金し、その収益を京都マラソン実行委員会を通じて、東日本大震災の義援金として日本赤十字に寄付する。</p> <p>(3)記念品（賞品）として、先着 500 人に京都マラソンオリジナルグッズをプレゼントします。</p> <p>※別途、ボランティア証明書（寄付による社会貢献活動）を発行します。</p>	
2月17日	<p>「電動ミニ市バス」が完成！～感謝状贈呈式を行います～</p> <p>この度、市バスの更なる PR に向け、京都市交通局と京都市立京都工学院高等学校が連携して「電動ミニ市バス」を製作しました。</p> <p>また、令和2年2月19日（水曜日）に、製作に御協力いただいた京都市立京都工学院高等学校「電子・機械工作クラブ」所属の生徒に対し、門川市長から感謝状を贈呈するとともに、完成した「電動ミニ市バス」のお披露目を行います。</p> <p>○「電動ミニ市バス」について</p> <p>(1) 製作者：京都市立京都工学院高等学校「電子・機械工作クラブ」所属の生徒 16 名</p> <p>(2) 概要：京都市交通局から、京都市立京都工学院高等学校に対し、市バスの更なる PR に向けて、「子どもが乗って楽しむことのできるミニバス」の開発・製作を依頼したところ、同校電子・機械工作クラブに所属する生徒が、クラブ活動にて習得した知識と技術を活用しながらミニバスの開発・製作に一から取り組み、「電動ミニ市バス」が完成しました。</p>	京都市交通局 自動車部営業課
2月18日	<p>令和2年度「御池通スポンサー花壇」 スポンサー及びサポーターの募集について</p> <p>京都市では、市民の皆様との協働により四季折々の草花を身近に楽しむことのできる「四季の花ストリート事業」の一環として、御池通シンボルロードにおいて「御池通スポンサー花壇」を設置し、歩いて楽しい緑と花いっぱいのまちづくりを推進しています。</p> <p>この度、令和2年度のスポンサー（御協賛いただける企業・団体）及びサポーター（植替え作業や、水やり等の日常管理に御協力いただける方）を新たに募集しますので、お知らせします。</p> <p>1 スポンサー（協賛企業・団体）の募集</p> <p>(1) 協賛金額：1口3万円（複数口協賛可能） 事業紹介看板に、協賛企業・団体の名称等を掲載(1口につき縦4cm×横16cm)</p> <p>(2) 申込期間：令和2年4月1日（水）～(定数になり次第締切)</p> <p>(3) 協賛期間：令和3年3月31日（水）まで（年度毎）</p>	建設局みどり政策推進室みどり協働担当

	<p>(4) 募集口数：102口（先着順）</p> <p>(5) 募集対象：企業又は団体</p> <p>2 サポーター（日常管理協力者）の募集</p> <p>(1) 作業内容</p> <p>ア 植替え作業 年4回程度の花壇の植替え（予定：6月、9月、12月、3月）</p> <p>イ 維持管理作業 水やりや雑草抜き等</p> <p>(2) 募集数：上限なし</p> <p>(3) 募集期間：随時申込を受け付けます。年度途中からでも御参加可能です！</p> <p>(4) 募集対象：企業、団体及び個人</p> <p>(5) その他</p> <p>3 花壇設置箇所及び事業紹介看板設置箇所</p> <p>花壇は、御池通（御池大橋～堀川通 約1,700m）の植樹帯内34箇所（1箇所に3基の花壇を設置、合計102基）に設置しており、事業紹介看板は植樹帯内12箇所に設置しています。</p>	
2月20日	<p>ヤブイヌの子ども公開開始！園内投票で名前を付けよう！</p> <p>この度、令和元年11月27日に本園で誕生したヤブイヌの子どもについて、下記のとおり公開し、同時に愛称投票を行います。</p> <p>1 公開開始年月日：令和2年3月3日（火曜日）</p> <p>2 展示場所：京都市動物園内 ヤブイヌ舎</p> <p>3 ヤブイヌの子どもについて</p> <p>(1) 性別及び頭数：メス 1頭</p> <p>(2) 出生年月日：令和元11月27日（生後約3箇月）</p> <p>(3) 体格：頭胴長…約30cm, 体重…1,635g（令和2年2月5日時点）</p> <p>4 愛称投票について</p> <p>(1) 投票期間：令和2年3月3日（火曜日）～3月15日（日曜日）</p> <p>(2) 投票方法：ヤブイヌ舎前に設置する投票箱に以下の愛称候補から、投票していただきます。最も投票数の多かったものを、愛称とさせていただきます。</p> <p>1. カリカ：亡くなった母親の名前「パパヤ」はパイヤから名前が付けられた。パイヤの学名が、「Carica Papaya(カリカ パパヤ)」であることから。パパヤのようなしつかり者に育つように願いを込めて。</p>	文化市民局 文化芸術都市推進室 動物園

	<p>2. スイ：11月27日の水曜日に生まれたため。また、ヤブイヌは生息地では「水の犬」と呼ばれることもあるため。</p> <p>3. スミ：保育器の中でいつも角(スミ)の方にいたことから。「澄」という漢字を当てて未来が澄み渡るように願いを込めて。</p> <p>(3) 発表方法：令和2年3月21日(土曜日)午後2時からヤブイヌ舎前で発表</p>	
3月4日	<p>次期北区基本計画のラジオ番組「ひらく！北区！情熱トーク」について</p> <p>北区では、令和3年度を始期とする次期北区基本計画の策定に向けて、4つの部会（高齢化部会、人口減少部会、防災部会、文化・観光部会）を中心に議論を重ねて参りました。</p> <p>この度、より多くの区民の方々に北区の現在とこれからの関心を持っていただくため、ラジオミックス京都と連携し、北区ゆかりの魅力的なゲストに日頃の北区での活動やこれからのまちへの思いを語っていただく特別番組を企画。ぜひお聴きください！</p> <p>1 放送日時 3月9日(月曜日)、16日(月曜日)、23日(月曜日)、30日(月曜日)</p> <p>※いずれも正午から(放送時間 15分間) ※事前収録による放送</p> <p>2 ナビゲーター、ゲスト</p> <p>(1) ナビゲーター 大谷大学 社会学部長 志藤修史 教授</p> <p>【プロフィール】専門は社会福祉学(地域福祉論・社会福祉援助技術論)。社会福祉士。大谷大学地域連携室長。学生とともに、自らも地域に出かけ住民に寄り添い、地域の課題解決において実践中。北山杉の産地として知られながらも過疎化が進む北区中川学区では、かつて山仕事の合間によく飲まれていた自家製「まんま茶」を使いNPO法人「HEROES」と協力し茶葉ビール「京都・中川まんまビア！」を開発し、同地域をPR。北区民まちづくり会議座長。</p> <p>(2) ゲスト</p> <p>ア サーカスコーヒー 店主 渡邊 良則 氏 (3月9日 放送予定)</p> <p>【プロフィール】大学卒業後、インドネシアで真珠養殖に携わる。帰国後、コーヒー会社に就職。品質管理や研究開発、接客など幅広く携わる。コーヒー農家の窮状を知り、コーヒー生産者を守っていくということも大事だというサステナブルコーヒーの考え方を伝えることの大切さを知る。お客さんお一人お一人の好みなどを丁寧に伺い、その人に合ったものをおすすめする「顔の見えるコーヒー」を実践。北区紫竹学区の出身。店舗も同学区にある。</p> <p>イ NPO法人京都いえのこと勉強会 理事長 木本 努 氏 (3月16日 放送予定)</p>	北区役所地域力推進室企画担当

	<p>【プロフィール】会社社長に就任して3年目、妻に癌の宣告。余命 数ヵ月と言われ12日後に子どもたちを残してこの世を去った。会社の代表と主夫を兼ねる「代表取締役主夫」として二足の草鞋を履いたものの、後に退職。専業主夫となり、子どもたちと向き合う。悲しみと子育て、家事で手一杯になった自らの経験を振り返り、同様の立場の人への支援のため、2014年同NPO法人を設立。2019年1月ばるす出版より「シングル父さん子育て奮闘記」出版。同年6月「ベストファーザー賞 in 関西一般部」受賞。現在女性の就労支援に関わる仕事と家事子育てに奮闘中。北区出身。</p> <p>ウ ボーダレスハウス株式会社 代表取締役 李 成一 氏、関西支店事業統括マネージャー 山本 崇人 氏（3月23日 放送予定）</p> <p>【プロフィール】外国人と日本人の若者同士と一緒に暮らす多国籍シェアハウス ボーダレスハウスを運営。国内、海外で事業を展開し、現在、運営ハウスは約120棟、累積入居者は1万人を超える。北区では4棟（上賀茂、衣笠、西陣、鞍馬口）を運営。新しい取り組みとして、地域住民との国際交流のきっかけを提供したいという思いから、地域交流型イベントを企画。</p> <p>エ 陶々舎 中山 福太郎 氏（3月30日 放送予定）</p> <p>【プロフィール】会社員。2013年、陶々舎の立ち上げに参加。鴨川でお茶を振る舞う「鴨茶」、無印良品でのワークショップ「当世日本茶湯見聞記」など、活動は多岐にわたる。先人たちの心や形、感覚を受け継ぎながら、現在に接続する茶の湯のあり方を探り、差し出す活動を続けている。</p>	
3月6日	<p>「マンガで知ろう！通りの復権と歩いて楽しいまち」を制作しました！</p> <p>中京区役所では、中京区基本計画に掲げる「通りの復権」（※）を目指して、中京区交通問題プロジェクトミーティングを組織しています。</p> <p>この度、同組織では、中京区民をはじめとする多くの市民の皆様へ、「歩行者優先のまちづくり」を広く発信し、より御理解いただけるようマンガ冊子を制作しましたので、お知らせします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 タイトル :「マンガで知ろう！通りの復権と歩いて楽しいまち」 2 仕様・発行部数 : ・A5判/20ページ 中綴じ製本（表紙・裏表紙カラー） ・発行部数：10,000部 3 配布・配架場所 : ・3月中旬以降、中京区役所、京都アスニー、京都芸術センター、こども相談センターパトナ、京都国際マンガミュージアム等に配架予定。 ・パソコンやスマートフォンで御覧いただけるよう、京都市情報館デジタルブック（電子書籍）で掲載します。 	中京区役所 地域力推進室 まちづくり推進担当

<p>3月6日</p>	<p>京都文化カプロジェクト 2016—2020 『大人のインターンシップ（文化交換）』事業の開始について</p> <p>京都文化カプロジェクト実行委員会（構成：京都市, 京都府, 京都商工会議所等）では, 東京 2020 オリンピック・パラリンピック等に向けて, 国内外に京都の文化を発信する取組を推進しており, 多彩な事業を展開しています。</p> <p>この度, 京都大学学際融合教育研究推進センターと連携して, 広く京都の文化に携わる人々が異分野の職業等の交換を通じて, 文化と文化, 人と人とのつながりを深めることにより相互の活性化を図り, ひいては京都の文化力の向上を目的とする『大人のためのインターンシップ（文化交換）』事業を, 以下のとおり開始します。</p> <p>1 事業概要</p> <p>希望者同士がお互いの職業を交換又は体験し（1日～1週間）, その文化の違いを学びあい, 自分自身やその仕事を見直すことで, 参加者それぞれが新しい価値観を醸成し, 人生の質を豊かにすることを目的とします。</p> <p>今年度は, モデルケースとして実施した実際の体験記事を紹介します。</p> <p>来年度は, 一般募集, マッチングを行い, インターンシップ（文化交換）を更に広げていきます。</p> <p>2 取組内容</p> <p>(1) 京都文化カプロジェクト公式サイト内にモデルケースとして実施した実際の体験記事等を紹介する特設ページを開設（令和2年3月10日）</p> <p>（特設ページのアドレス）https://culture-project.kyoto/pages/internship/</p> <p>（インターンシップのモデルケース）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鈴鹿可奈子氏（聖護院ハッ橋総本店専務取締役）⇒KBS 京都テレビカメラマン 2. 津田友子氏（陶芸家）⇒和食料理人 3. 大西辰彦氏（京都産業大学副学長）⇒FM おとくに DJ, バイク修理工 4. 石川武氏（三共精機株式会社代表取締役社長）⇒ノートルダム女学院中学高等学校校長 5. 松倉浩江氏（東山消防署職員）⇒白竹堂京扇子職人 <p>(2) 京都大学学際融合教育研究推進センターホームページ内に募集等に関する情報を掲載した特設サイトを開設（令和2年4月予定）https://forms.gle/mulbeq5GygBmteRp8</p> <p>(3) フリーマガジン「ハンケイ 500m」vol. 54での体験記事の掲載（令和2年3月10日発行）</p> <p>(4) フリーマガジン「おっちゃんとおばちゃん」vol. 21での体験記事の掲載（令和2年5月発行予定）</p> <p>3 企画運営</p> <p>京都大学学際融合教育研究推進センター（宮野公樹准教授）</p> <p>研究者や経営者により異分野融合を目的とする「京大 100 人論文」や「京大 100 分野ワークショップ」など, 大</p>	<p>文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課 京都文化カプロジェクト実行委員会事務局</p>
-------------	--	--

	<p>学内外を問わず分野を超えた議論や交流を促進する事業を行っている。毎年 40 件以上のマッチングが成立し、そこから共同研究が始まるケースや、他大学が「京大 100 人論文」事業をモデルにした企画を導入している事例もあり、異分野交流に関する情報の蓄積が豊富である。</p>	
<p>3 月 9 日</p>	<p>「チャレンジ！！オープンガバナンス 2019」において、京都市のチームが全国 1 位！</p> <p>「チャレンジ！！オープンガバナンス 2019」（以下「COG2019」という。）は、自治体が地域課題（子育て・家族・教育、高齢化・介護・医療・健康、エネルギー・環境、防災・防犯、産業振興、まちづくり・交通、地域プロモーション、観光、雇用など）と関連データを提示し、それに対して市民がアイデアをまとめるプロセスと成果が審査・評価されるコンテストです。</p> <p>COG2019 では、京都市が提示した地域課題に対して市民有志等から成る 2 つのチームが結成されました。両チームとも、そのアイデア・取組活動と京都市のサポート・連携が高く評価され、見事最終審査に進出、うち 1 チームがオンライン視聴者によるスマートフォン投票（※）で 1 位に選ばれました。</p> <p>※ 今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、最終審査の公開イベントは中止となり、試行的に各ファイナリストからのオンラインでの発表とスマートフォン投票が実施されました。</p> <p>1 チーム名：Pharmatching（ファーマッチング）しておくれやす☆（スマホ投票 1 位獲得！）</p> <p>【地域課題】 市民による薬局・薬剤師等の活用推進（健康サポート薬局の普及）</p> <p>【アイデア名】 ICT の活用により市民と薬局・薬剤師と繋がり合う事ができ、身近に相談できる地域社会を実現する新サービス“Pharmatching（ファーマッチング）”</p> <p>【アイデアの概要】 少子化による人口減少、長寿社会の到来により、ファーストアクセスの相談窓口として“かかりつけ薬局・薬剤師”の機能強化と、未病・予防も含めた生活支援のサポートが求められている。ICT を活用したプラットフォームサービスの提供により、“薬剤師と相談しやすい”社会を実現し、地域住民の安心と健康に寄与することを目指す。</p> <p>2 チーム名：Kyo-So（共創し、協奏し、京想する）（ファイナリストとして善戦！）</p> <p>【地域課題】 森林・林業の持続可能な未来と地域振興</p> <p>【アイデア名】 京都の木と ICT の目でつながる心～林福連携「京想」プロジェクト～</p> <p>【アイデアの概要】 林業を主産業とする京都北部の農山村地域は、人口と担い手の減少、木材需要の低下により疲弊している。林福連携（林業と福祉の連携）による世代を超えたつながりで創る木工製品と ICT を活用したつながり促進の仕組みを作ることにより、これらの解決を目指す。</p>	<p>総合企画局情報化推進室統計解析担当</p>

	<p>参考1 COG2019の概要</p> <p>(1) 自治体(41都市)が市民と一緒に考えたい地域課題(51課題)と関連データ・情報・資料(以下「公開データ」という。)を併せて提示(令和元年6月~8月)。</p> <p>(2) 各自治体の市民は、公開データを活用し、提示された地域課題の解決に向けたアイデアをまとめて提出(令和元年9月~12月)。</p> <p>(3) 提出されたアイデア(56件)の内容と、検討過程で市民と自治体がどれだけ連携して取り組んだかが審査(令和2年1月~2月)され、1次審査を通過した12件のアイデアの中から、オンラインで行われる最終審査(同年3月8日)で上位4チームを決定。</p> <p>(4) 最終審査に進んだ取組には、今後、審査委員会の改善アドバイス(令和2年4月予定)や継続的フォローアップが予定される。</p> <p>参考2 オープンガバナンスについて</p> <p>オープンガバナンスとは、市民と行政が協働で地域の課題解決にあたる市民参加型社会の新しい公共サービスの枠組です。市民は、市民参加型社会のメンバーとして地域の課題の解決に多様な知恵と経験を出しあって自分たちの問題として主体的に共同して取り組んでいきます。</p> <p>行政は、自身の持つデータのオープンデータ化や、市民ニーズを施策に反映させる努力をしながら、市民参加型社会のプラットフォームとしての活躍を目指します。</p>	
3月11日	<p>「令和2年度京都市職員採用ガイダンス」開催中止に伴う動画等の配信について</p> <p>「令和2年度京都市職員採用ガイダンス」について、この度の新型コロナウイルス感染症の影響による、来場者の皆様の健康・安全面に配慮することを第一に考え、開催を中止することとしました。</p> <p>しかしながら、当該ガイダンスは、例年、多数の方に参加いただき、好評をいただいておりますので、ガイダンスのメインプログラムである「市長の情熱トーク(市長講演)」をはじめ、「採用面接の実演」、「パネルディスカッション」など、可能な限り当該ガイダンスの内容を広く知っていただけるよう、人事委員会事務局ホームページにおいて、下記のとおり動画や説明資料を配信します。</p> <p>配信ツール：京都市人事委員会事務局公式ホームページ「京都市職員採用WEB」</p> <p>配信内容</p> <p>(1) 動画配信</p>	人事委員会事務局 試験担当

	<p>○市長の情熱トーク…京都市役所への受験に向けて、市長自らが熱いメッセージをお伝えします。</p> <p>○採用試験の概要説明…人事委員会事務局職員が、試験の詳細について説明します。</p> <p>○採用面接の実演…実際の採用面接をイメージできるよう、職員が面接を実演します。</p> <p>○若手職員によるパネルディスカッション…市政を支えている若手職員が、これまでの経験談などを踏まえて、京都市の仕事の魅力や、やりがいについて紹介します。</p> <p>(2) 資料掲載</p> <p>○職種別業務説明会…職種ごとの具体的な業務内容などを紹介する資料を掲載します。</p> <p>配信日（予定）</p> <p>令和2年4月10日金曜日～ ※配信開始の際は改めてお知らせします</p>	
3月11日	<p>下京区 140 周年記念事業 下京区総合庁舎前 多様な人々が集える空間 の完成について ～記念モニュメントの制作及び桜の寄贈等による緑地・庭園の再整備～</p> <p>下京区 140 周年記念事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）及び下京区役所では、下京区 140 周年記念事業の最後を締めくくる取組として、下京区総合庁舎前の緑地及び庭園を再整備し、下京区の誕生（区制施行）日である3月14日（土曜日）から供用を開始しますので、お知らせします。</p> <p>緑地には、令和5年度に下京区に移転する京都市立芸術大学（小山田徹教授）に制作いただいた記念モニュメントを配置するとともに、庭園には、京都さくらロータリークラブから寄贈いただいた桜を植樹しました。</p> <p>また、本緑地及び庭園が、子どもからお年寄り、観光客まで多様な人々に親しまれる空間となるよう、今後、「愛称」の募集を予定しています。愛称募集については、改めてお知らせします。</p> <p>場所：下京区総合庁舎前 緑地及び庭園（下京区西洞院通塩小路上る東塩小路町）</p> <p>供用開始：令和2年3月14日（土曜日）から</p> <p>モニュメント制作者：京都市立芸術大学美術学部 彫刻専攻 小山田 徹 教授</p> <p>協力：京都市立芸術大学美術学部彫刻専攻学生</p>	下京区役所地域力推進室総務・防災担当
3月13日	<p>臨時休校期間の子ども向け文化芸術情報サイト「おうちでアート」の開設について</p> <p>京都市及び京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために臨時休校となり自宅等で過ごす小中学生・高校生向けに、文化芸術の楽しさにふれてもらうウェブサイト「おうちでアート」（https://www.kac.or.jp/28151/外部サイトへリンクします）を、下記のとおり開設しましたので、お知らせします。</p> <p>なお、本サイトの設置期限は春休み期間の終了までを予定しております。</p>	京都市文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課

	<p>1 発信内容</p> <p><アーティストに聞いてみたムービー></p> <p>「アーティストって何をしているの?」「どうしてアーティストになったの?」</p> <p>子どもたちの素朴な疑問にアーティストの皆さんに動画出演をいただき、お答えしています。</p> <p><こどもゲイジツそうだんしつ></p> <p>アートに関するよろず相談室をTwitter上に開設しています。アーティストに聞いてみたいこと、創作に関するヒントや悩みに出来る限りなんでもお答えします。</p> <p><リンク集></p> <p>自宅で楽しめるアートのリンク集を掲載しています。</p> <p>(例：博物館・美術館のコレクションアーカイブ，美術，伝統芸能，生活文化，音楽，文学などのコンテンツ等)</p>	
--	---	--